

子ども・障害のある仲間の とらえ方、記録の書き方講座

特別補講「年度の振り返りと支援計画づくり」のポイント

子どもや障害のある仲間(利用者)の問題行動をどうとらえたらいいのか。目標にどうとりくむのか。連絡帳をどう書くのか—。

そんなことに日々悩みながら、取り組まれている皆さんに「目からうろこ」の講座です。

講師の竹沢清先生は、元ろう学校の教師。ろう学校で出会った聴覚障害と知的障害や発達障害のある子どもたちへの取り組みから「子どもを理解する」「実践をつくりだす」「実践記録を書く」ということを追求されてきました。

午前中は、「子どもがわかるとは、その子のねがいがわかること」をテーマに、子ども・仲間たちへの関わりと見方をお話していただきます。午後は、「〇〇でした」で終わってしまっている連絡帳や記録を、実例をまじえながら・具体的に、伝わる文・記録とする書き方を学びます。

眠くなる暇のない講座です。あすからの活動のエネルギーをたくわえる1日となるはず。

*特別補講として「年度の振り返りと支援計画づくり」のポイントについて話をさせていただきます。

2017年2月26日(日)10時00分~15時00分

会場 あいち障害者センター2F研修室

※地下鉄名城線伝馬町、名鉄本線名鉄神宮前駅から徒歩7分、JR熱田駅から徒歩15分

講師：竹沢 清氏

(日本福祉大学非常勤講師)

受講料 4000円 (定員 30人)



1946年、石川県生まれ。名古屋大学経済学部卒業後、障害児教育をまったく知らずに、ろう学校へ。著書に『子どもの真実に出会うとき』『教育実践は子ども発見』『子どもが見えてくる実践の記録』(以上、全障研出版部)など。



*講座に参加を希望される方は、2月13日(月)までにFAX・メール・郵送でお申し込みください。

〔竹沢先生 レジメより〕

今、子ども（なかま）たちは苦悩の時代を生きている。こんな時代だからこそ、（どの子どもも変わる）（人間ってこんなに素敵なんだ）との、人間賛歌ともいえるべき事実を作り出し、多くの方々と共有したい。

——子ども（なかま）は発達の実行者 私たちは実践の実行者

〔前回参加者のこえ〕

先生の講義は、とても面白く、楽しい、気持ちの動く時間だった。仕事に対してたくさんの不安もあるが、

講座プログラム 受付／9:30～

【1部】 10時～12時

子ども・障害のある仲間のとらえ方と実践のすすめ方・はたらきかけ

【2部】 13時～14時20分

「書くこと」から見えてくる子ども・障害のある仲間の発達と心

【特別補講、他】 14時20分～15時

「年度の振り返りと支援計画づくり」のポイント

【受講申し込み】 FAXまたはメール、郵送でお申し込み。

→受付確認の連絡→受講料振込→入金確認・参加証の送付
（振込手数料はご負担をお願いいたします。）

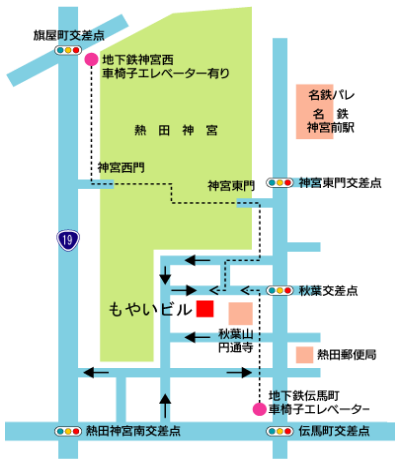
【振込先】 特定非営利活動法人あいち障害者センター

銀行：三菱東京UFJ銀行 内田橋支店（792） 普通 3710102

郵便振替：00810-0-78563

※連絡先は、センターから連絡がとれるアドレスをご記入ください。
メールのない場合はFAX・電話になります。

※公共交通機関でお越し下さい。車の場合は有料駐車場等のご利用を。



FAX052-682-7916 E-mail soudan732@nifty.com

「子ども・障害のある仲間のとらえ方と記録の書き方」講座・受講申込書

申込日 月 日

フリガナ				年	
氏名				齢	歳代
連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> をつけてください	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）			
	住所	〒 - ※連絡先が自宅以外の場合は勤務先名（その他）の記入をお願いします。			
先	<input type="checkbox"/> 電話	（ ） -	<input type="checkbox"/> FAX	（ ） -	
	<input type="checkbox"/> 携帯電話 （当日連絡先）		<input type="checkbox"/> E-mail		

※センターと連絡がとれる優先連絡先にをつけてください。※mail はセンターメール（soudan732@nifty）が受け取れるアドレスをお願いします。